



見えな**い**ものが持つ**力**

子ども達は学校や地域で、学習や部活動以外にもさまざまな経験をしています。4月に進級や進学をしてそれぞれが新しいステージに立ってから、今日までたくさんの行事や出来事を経験してきました。そこでは家庭ではなかなか見られない姿がたくさんありました。

○直接体験することで

たとえば、11月には2年生が「職業体験」を行い、2日間にわたって校外に出かけ、それぞれ様々な職種を体験してきました。実際にはその2日間だけではなく、事業所との打合せや連絡・調整等の準備を経て、やっと迎えた2日間でした。

初日の朝には総武線が止まってしまうなどのアクシデントもありましたが、様々なことを乗り越えて無事に2日目を終えた後の表情からは、やり終えた安堵感とともに、やり遂げたことでの「自信」を感じました。その表情を見て、やはり「人と接する経験」は子ども達を大きく成長させるのだ、ということあらためて実感しました。

子どもの成長の仕方は大変ゆるやかなので、普段私たちはあまり感じることはありません。特に内面的な変化は見ただけでは分かりにくいものです。子ども達は日々成長し、変化しているのですが、ご家庭ではなかなかわからないと思います。しかし、学校で子ども達を見てみると、ある時急に成長を感じるがあります。それは何かを直接体験した時、そして、それをやり遂げた時です。そういう時にこそ、子ども達は、ほんの数日の期間であっても、グンと成長するように思えます。

○「ありがとう」

10月からずっと昼休みや放課後に、3年生の高校受検に向けた面接の練習を続けてきましたが、その中で、印象に残ったことがありました。多くの生徒に聞いてみた質問の一つに、「好きな言葉とその理由を教えてください」というものがありましたが、「一生懸命」「努力」などの言葉意外に、何人かの方があげたのが「ありがとう」という言葉でした。その理由も様々なものがありましたが、その中でも特に、「ありがとう、と言われていやな人はいないと思うからです。」という言葉には、思わず感心して「なるほど」とうなずいてしまいました。また、昨日は今年最後の給食でしたが、ランチルームで給食を受け取るときに、調理員さんに「今年もありがとうございました！」と声をかけて受け取る子ども達がたくさんいた、という話を調理員さんが笑顔で話してくれました。

思っていることは言葉にして初めて姿を表します。今年最後の集会で、生徒に一番伝えたかった事は、私も「ありがとう」でした。「毎日挨拶してくれてありがとう。部活や行事で頑張る姿を見せてくれてありがとう。そして、いつも元気な顔を見せてくれてありがとう。

元気に新年を迎えてまたその顔を見せてください。」ありがとうございました。